

寺僧、又豊前国宇佐郡之矢羽田大神寺僧二人、嫌彼尼言、汝是外道、啗些颯之、神人自空降、以棒将棠僧、々恐叫終死也、大安寺僧戒明大德、任彼竺紫国府大国師之時、宝龜七八箇年比頃、肥前国佐賀郡大領正七位上佐賀君兒公、設安居会、請戒明法師、令講八十花嚴之時、彼尼不闕、坐衆中聽、講師見之、呵嘖之言、何尼濫交、尼答之言、仏平等大悲故、為一切衆生、流布正教、何故別制我、因拳偈問之、講師不得偈通、諸高名智者、怪之一向問試、尼終不屈、乃知聖化、而更立名、号舍利菩薩、道俗帰敬、而為化主、昔仏在世時、舍衛城須達長者之女蘇曼、所生卵十枚、開成十男、出家皆得羅漢果、迦毘羅衛城長者之妻、懷任生肉团、到七日頭、肉团開敷、有百童子、一時出家、百人俱得阿羅漢果、我聖朝所彈压之土、有是善類、斯亦奇異之事矣、

誹之奉写 法花經 女人過失 以現口喎斜縁第廿

粟国名方郡埴村、在女人、忌部首字曰多夜須子、白壁天皇代、是女奉写法花經於麻殖郡苑山寺、于時麻殖郡人忌部連板屋、拳頭彼女人之過失、以誹謗故、即口喎斜、面戻於後、而終不直、法花經云、謗受持此經者、諸根闇鈍、矧陋變、盲聾背偏、又云、見受持是經者、出其過惡、若実若不実、此人現世得白癩病者、斯謂之矣、当慎信心、心讚彼德、不謗其缺、蒙大災故矣、

- 11之(来) 也
- 12棠(真釈棠・前棠) 棠
- 13肥 備
- 14正(来前) 子
- 15試(来) 識
- 16之(来前) 之(囁俱者之)
- 17百(来前) 一而百

- 1之前目錄・国(之) ナシ
- 2方(来前) 号
- 3埴 麻埴填
- 4経(前) ナシ
- 5郡(前) ナシ
- 6頭(来前) ◇
- 7斜(来前) 舒
- 8謗(来前) ナシ
- 9此(来前) ナシ
- 10學 率
- 11雙(真釈 雙アシナ) 前国(壁) 臂
- 12雙(来前) 臂
- 13之(来前) 也

沙門因眼盲使誦金剛般若經 得明眼縁第廿一

沙門長義者、諾染右京薬師寺之僧也、宝龜三年之間、長義眼目闇盲、逕五月許、日夜耽悲、屈請衆僧、三日三夜、誦誦金剛般若經、便目開明、如本平也、般若驗力、其大高哉、深信発願、無不願不応故也、

重斤取人物又写法花經 以現得善惡報縁第廿二

他田舍人蝦夷者、信農国小泉郡跡目里人也、多富財宝、錢稻出举、蝦夷奉写法花經二遍、每遍設会、講誦既了、後復思議、猶不足心、更敬繕写、唯未供養、宝龜四年癸丑夏四月下旬、蝦夷忽率而死、妻子量言、丙年之人故不焼失、点地作塚、殯以置之、死経七日、而甦告言、使有四人、共副将往、初往広野、次有卒坂、登於坂上、觀有大觀、於是時視前路、多有数人、以箒掃路言、奉写法花經之人、從此路往、故我掃淨、即至待礼、前有深河、広一町許、其河度椅、有数人衆、其椅修理言、奉写法花經之人、從此椅度、故我修理、到便待礼、到椅彼方、有黄金宮、其宮有王、椅本有三衢、一道広平、一道草小生、一道以藪而塞、立蝦夷於其衢、一人入宮曰召、王見之言、此奉写法花經之人、即示於草小生道言、從此道将、四人副至熱鉄柱所、令抱彼柱、編鉄熱焼、著背而押、歴三日夜、令抱銅柱、編銅甚熱、著背而押、又逕三日、極熱如焼、鉄銅雖熱、非熱非安、編鉄雖重、非重非輕、惡業所引、唯欲抱荷、合歴六日乃出、

- 1 因(前) 一目
- 2 義(来前) 夜
- 3 目(来前) ナシ
- 4 共(来前) 告
- 5 初(来前) ナシ
- 6 我(来前) 我等
- 7 経(来前) ナシ
- 8 王(前) 玉
- 9 将来前国 将来
- 10 甚(来前) 其
- 11 熱(前) ◇
- 12 重(来前) ナシ
- 13 出(来前) 至